

患者の皆様へ

2019年4月4日

周産期母性科

現在、周産期母性科では、多くの分娩管理を行っています。日本産科婦人科学会では、日本国内での妊娠・分娩管理の現状把握を目的に、2~3次施設での分娩症例の集計を行っており、今後の周産期管理の向上に役立てています。当院でも、その一旦を担っており、当院で22週以降に分娩した症例の診療情報を提供しております。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。最終的な結果は、年次報告として日本産科婦人科学会雑誌に毎年掲載されますので、どなたでもご覧になれます。

1. 研究課題名 「日本産科婦人科学会 周産期登録事業および登録情報に基づく研究」

2. 研究の意義・目的 「日本産科婦人科学会に分娩症例の診療情報を提供し、日本の周産期管理向上に寄与する」

3. 研究の方法 当院で妊娠22週以降に分娩されるすべての患者さんを対象とし、それぞれの患者さんについての妊娠中の経過・分娩の状況（分娩週数、分娩方法、出生体重、治療など）について要約したデータベースを作成し、日本産科婦人科学会へ提供します。なお、この研究は個別に同意をいただかずに、通知・公開を行うことで実施することが国の指針によって認められています。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学病院周産期母性科の鍵のかかる棚で保管します。日本産科婦人科学会への提出は、氏名や生年月日などの本人を特定できる一切の個人情報は対象ではなく、個人情報が公表されることはありません。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 日本産科婦人科学会（代表者 周産期委員会委員長 金山尚裕）
千葉大学医学部附属病院 周産期母性科

解析機関 : 日本産科婦人科学会

本件のお問合せ先 : 千葉大学医学部附属病院周産期母性科 医師 尾本 暁子
043 (222) 7171 内線6894 (周産期母性科外来)